

令和5年度「学校教育自己診断」の結果および分析

表中の数字は 1よくあてはまる 2ややあてはまる 3あまりあてはまらない 4まったくあてはまらない のうち、
1よくあてはまる と 2ややあてはまる の合計

令和5年度 学校教育自己診断(生徒) 経年比較

番号	項目	R3	R4	R5
1	岸和田高校に入学して満足している。	88.2%	89.2%	91.2%
2	岸和田高校は、授業や部活動に熱心な先生が多く、その指導方針に納得できる。	87.1%	87.2%	88.1%
3	岸和田高校での授業に満足している。	83.0%	87.7%	87.7%
4	岸和田高校は、文化祭や体育祭・校外学習などの学校行事が盛んで、生徒は楽しく参加している。	87.6%	90.1%	92.9%
5	岸和田高校は、部活動が活発で、生徒は部活動に熱心に参加している。	91.4%	93.1%	92.8%
6	岸和田高校は、課題研究をはじめとする探究的な学習や、関連行事など特色ある教育活動が行われている。	95.1%	92.7%	94.3%
7	岸和田高校での授業やさまざまな活動において、1人1台端末を積極的に活用している。		89.0%	90.3%
8	岸和田高校は、いじめなど私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	87.6%	90.9%	92.0%
9	岸和田高校は、将来の進路や職業などについて、講演会や説明会を実施するなど適切な指導をおこなっている。	95.4%	94.1%	94.5%
10	土曜日の午前中は自学自習や学校の講習に参加するなど、学習時間として活用している。	53.1%	49.0%	51.4%
11	保健室や相談室などで気軽に相談できる。	62.5%	64.4%	71.8%
12	岸和田高校では、あいさつやマナーを守る指導を行うことで社会人としてのモラルを守る態度を育てるとともに、いのちの大切さを学ぶ機会がある。	82.1%	81.4%	84.7%
13	岸和田高校は、メールサービスやクラスルーム、ホームページ、校長ブログ等によって、学校の情報が発信されている。	92.7%	91.0%	92.4%
14	学校に行くのが楽しい。	86.5%	87.2%	89.8%

令和5年度 学校教育自己診断(保護者) 経年比較

番号	項目	R3	R4	R5
1	子どもが岸和田高校に入学して満足した高校生活を送っている。	89.8%	90.2%	91.6%
2	岸和田高校では、学校経営に校長のリーダーシップが発揮されている。	88.1%	79.1%	82.5%
3	岸和田高校は教員の教科指導力の向上に積極的に取り組んでおり、子どもは授業が分かりやすいと言っている。	80.8%	81.5%	82.1%
4	岸和田高校では、文化祭や体育祭などの学校行事に生徒は楽しく生き生きと参加している。	88.3%	93.8%	96.4%
5	岸和田高校の指導方針全般に共感できる。	91.0%	88.2%	91.6%
6	岸和田高校は、課題研究をはじめとする探究的な学習や、海外研修・SSH関連行事など特色ある教育活動が行われている。	94.0%	93.2%	96.1%
7	岸和田高校は、いじめなど子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	88.6%	90.3%	90.5%
8	岸和田高校は将来の進路や職業などについて、進路指導部を中心として講演会や説明会を実施するなど適切な指導を行っている。	90.3%	91.8%	93.6%
9	岸和田高校での学校行事やPTA活動に参加したことがある。	33.9%	55.1%	68.7%
10	岸和田高校は懇談や家庭連絡などを通じて、保護者と相談しやすい体制を作っている。	82.2%	82.6%	86.7%
11	岸和田高校では、あいさつやマナーを守る指導を行うことで社会人としてのモラルを守る態度を育てるとともに、いのちの大切さを学ぶ機会がある。	80.8%	83.3%	83.1%
12	岸和田高校は、メールサービスやホームページ、校長ブログ等を利用して教育活動をわかりやすく伝えている。	94.8%	91.9%	93.8%
13	子どもは、学校に行くのが楽しいと言っている。	85.5%	85.3%	86.7%

今年度の生徒及び保護者による学校教育自己診断の結果について、令和3年度から今年度まで3年間の肯定的評価の経緯も見ながら、以下のとおり分析する。

■学校生活全般

- ・生徒の「1 入学して満足している」は90%弱の数値が続いていたが、今年度は91.2%と90%を超えた。保護者の「1 入学して満足した高校生活を送っている」も同じような経緯であり、この3年間上昇している。新型コロナウイルス感染症による影響がなくなりつつあることも要因の一つだと考えられる。
- ・上記の項目と同様に、生徒の「14 学校に行くのが楽しい」、保護者の「13 学校に行くのが楽しいと言っている」についても上昇しており、これらの項目が上昇していることが嬉しい限りである。ただ、昨年度の分析でも記したとおり、90%という数値は高いようだが、1割の生徒は満足していないという考えのもと、引き続き、教育活動の充実、教育環境の整備に取り組んでいきたい。

■指導方針

- ・生徒の「2 授業や部活動に熱心な先生が多く、その指導方針に納得できる」、保護者の「5 指導方針全般に共感できる」はともに、この3年間で最も高い数値であった。概ね、納得・共感してもらっているとはいえ、自由記述では改善すべき具体的な意見を多数いただいている。すぐに対応できることについては速やかに改善するとともに、今後、意見を踏まえた改善を進められるよう検討していきたい。
- ・保護者の「2 学校経営に校長のリーダーシップが発揮されている」はやや改善したが、まだ低い数値であることから、来年度はさらに、保護者の方に校長としての動きを見てもらえるよう取り組むとともに、本校の教育方針や教育に対する考えを理解してもらえるような機会を増やしていきたい。

■学習指導

- ・生徒の「3 授業に満足している」は87.7%であり、昨年度と全く同じ数値であった。また、保護者の「3 授業が分かりやすいと言っている」についても、3年間で最も高い数値であった。全体的な数値は上がっているが、自由記述では個別具体的な多くの意見をいただいている。こうした意見を十分に受け止め、教員一人ひとりの教科指導力の向上に向けて、学校として組織的な取組を継続していきたい。
- ・昨年度から追加した生徒の「7 1人1台端末を積極的に活用している」は90.3%であり、昨年度よりやや上昇した。各学年の数値を見ても、すべての学年において昨年度より少しずつ数値が上昇している。1人1台端末が導入されすでに3年めとなる。少しずつではあるが、1人1台端末を効果的に活用できる授業場面についての認識が教員間で共有されてきているのではないかと考える。今後さらに1人1台端末が授業改善に有効なツールとなるよう研究をすすめる、実践事例を蓄積していきたい。
- ・「6 課題研究をはじめとする探究的な学習や特色ある教育活動が行われている」については、生徒、保護者とも3年連続で下がり続けていたが、今年度は数値が上昇した。特に、保護者の数値は3年前より高くなった。課題研究の分類については、現2年生から教科別中心であったものを課題別に変更した。そのことで、生徒たち自らが取り組みたい研究テーマを設定できるようになったと考える。この変更が今年度上昇した要因であるならば、今後も数値の上昇が継続されるものと考えられるため、その動向については検証をすすめていきたい。なお、課題研究については課題発見・解決能力をはじめとした、これから求められる資質・能力を育成するうえで重要な役割を果たすものと考えており、さらなる充実を図っていきたいと考えている。
- ・生徒の「10 土曜日の午前中は自学自習や学校の講習等に参加するなど、学習時間として活用している」についても3年連続で下がり続けていたが、今年度は50%を超え、下げ止まったところである。部活と勉強の両立に向けて、学習時間の確保が求められる中、本校では学習習慣の定着が大きな課題である。土曜日の午前中は学習する時間だとする「土曜学習タイム」の取組を含め、学習時間の保障に向けて、取組の工夫・改善を行うとともに、生徒には継続して時間の有効活用を訴えていきたい。

■進路指導

- ・生徒の「9 将来の進路や職業などについて、講演会や説明会を実施するなど適切な指導をおこなっている」は94.5%、保護者の同様の項目は93.6%であり、保護者についてはここ3年で最も高い数値となった。今後も生徒一人ひとりが具体的な目標、「高い志」をもって学習に取り組めるよう、生徒の進路や職業などについての講演会や説明会などを適切な時期に効果的に取り入れながら、引き続き、丁寧な進路指導をすすめていきたい。

■生徒指導

- ・生徒の「12 あいさつやマナーを守る指導を行うことで社会人としてのモラルを守る態度を育てるとともに、いのちの大切さを学ぶ機会がある」は84.7%であり、この3年間で最も高い数値となった。なお、保護者の同様の項目については83.1%であった。今年度から朝読の時間を廃止したが、1限の授業前に廊下に立ち、あいさつする教員が多くいることも上昇の要因の一つだと考えられる。今後も引き続き、あいさつやマナー指導をはじめ、すべての教員が生徒に対する指導の重要性を認識し、学校としての指導方針に基づき一致した指導が行えるよう取り組んでいきたい。

■教育相談

- ・生徒の「8 いじめなど私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」は92.0%、保護者の同様の項目については90.5%であり、この項目についても3年間で最も高い数値となった。
- ・生徒の「11 保健室や相談室などで気軽に相談できる」は71.8%となり、昨年度の64.4%を大きく上回った。気軽に相談できるとの認識が高くなっていることは、実際に保健室への来室者数が増えていることにも現れている。学習面や人間関係などで悩みを抱える生徒が一定数いる中、学校としての教育相談体制は整備されているものとするが、さらに生徒が相談しやすい体制づくりに努めていきたい。

■学校行事・部活動

- ・「4 文化祭や体育祭、校外学習などの学校行事が盛んで、生徒は楽しく参加している」の項目についても生徒が92.9%、保護者が96.4%であり、この3年間で最も高い数値となった。前記のとおり、新型コロナウイルス感染症の影響なく、ほぼ予定どおり、学校行事を実施できたことが要因だと考えられる。
- ・生徒の「5 部活動が活発で、生徒は部活動に熱心に参加している」は92.8%であった。部活動に加入している生徒の、のべ人数の割合が95%を超える状況と合致するものである。

■発信・広報

- ・生徒の「12 メールサービスやクラスルーム、ホームページ、校長ブログ等によって、学校の情報が発信されている」は92.4%、保護者の同様の項目については93.8%であった。自由記述においても、メールサービスはとても好評であった。この項目については昨年度大きく数値を下げてしまったが、今年度は特に、校長ブログの配信回数を意識しながら、学校の行事や取組の発信に努めた。一方で、ホームページの更新については滞ったままであるため、今後の課題として取り組んでいきたいと考えている。

■PTA活動等

- ・保護者の「9 学校行事やPTA活動に参加したことがある」は68.7%であり、昨年度の55.1%を大きく上回った。コロナ禍前と同様な程度まで、文化祭や体育祭をはじめとした学校行事やPTA活動などに来校いただけるようになったと考えている。また今年度は本校で初めて保護者を対象とした授業公開を実施したところ、多くの方に来校いただいたことも上昇した要因の一つだと考える。来年度のPTA総会にも、より多くの保護者の方に来校いただけることを願っている。
- ・保護者の「10 懇談や家庭連絡などを通じて、保護者と相談しやすい体制を作っている」は86.7%となり、この3年間で最も高い数値となった。今後もより一層、こまめな家庭連絡をはじめ、保護者の方と一緒に生徒への指導・支援を行う体制を確立していきたいと考えている。